

上越市総合教育会議 次第

日時：平成 29 年 12 月 22 日（金）

午前 9 時 30 分～

会場：上越市役所木田庁舎 第 2 委員会室

1 開 会

2 市長挨拶

3 協 議

上越市が児童・生徒に身に付けさせたい学力について

4 その他

5 閉 会

平成 29 年度 上越市総合教育会議 出席者

構成員

役 職	氏 名
上越市長	村 山 秀 幸
上越市教育委員会 教育長	野 澤 朗
上越市教育委員会 教育長職務代理者	徳 道 茂
上越市教育委員会 委員	村 椿 正 子
上越市教育委員会 委員	濱 祐 子
上越市教育委員会 委員	中 野 敏 明

市長部局関係職員

役 職	氏 名
上越市理事	高 橋 一 之
上越市総務管理部 総務管理部長	岩 野 俊 彦
上越市総務管理部 総務管理課長	金 山 幸 宏
上越市総務管理部 総務管理課副課長	宮 崎 恵 子

事務局職員

役 職	氏 名
上越市教育委員会 教育次長	早 川 義 裕
上越市教育委員会 教育部長	柳 澤 祐 人
上越市教育委員会 教育総務課長	市 川 重 隆
上越市教育委員会 教育総務課参事	親 跡 久 樹
上越市教育委員会 学校教育課長	澤 田 靖
上越市教育委員会 学校教育課指導主事	石 黒 和 仁
上越市教育委員会 教育総務課副課長	本 間 綾 子
上越市教育委員会 教育総務課係長	加 藤 義 浩

上越市の学力向上の考え方について

◎「学力の三要素」(平成 19 年改正、学校教育法)

- ① 基礎的な知識・技能
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 →※高大接続改革答申(主体性・多様性・協働性)

◎「資質・能力の三つの柱」(平成 28 年 12 月、中央教育審議会答申)

- ① 知識・技能(何を理解しているか、何ができるか)
- ② 思考力・判断力・表現力等(理解していること、できることをどう使うか)
- ③ 学びに向かう力、人間性等(どのように社会とかわり、よりよい人生を送るか)

◎「学習指導要領改訂の基本的な考え方」

- 教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の蓄積や実践を活かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視。
- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。
- 先行する特別教科化など道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成。

◎「認知能力」と「非認知能力」

- 認知能力：読み書きなどの知識・技能、学力テストやIQなどで測れる力など
- 非認知能力：「社会情緒的資質能力」とも言われ、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力など→「生きる力」の構成要素

◎ 学力形成にかかわる要因

- 子どもの生来の資質・能力
- 自己有用感、自己効力感、成功体験
- 所属集団の規模や質
- 教師の資質、指導力、人間性
- 家庭や地域の教育力
- その他

◎上越市の学力向上の考え方

○学校教育の目標

ふるさと上越を愛し、学ぶ力、豊かな心、健やかな体をもって、自立と共生ができる子どもを育てる。

○学力向上のイメージ

教師主導で、児童生徒を引っ張り上げるのではなく、児童生徒が「自分の力で伸びることができるステップ(土台)」をつくる。

○重点的な取組

- ・キャリア教育(キャリアスタートウィーク、勤労観、職業観の育成)
- ・地域教育(夢・志チャレンジスクール、「ふるさとの偉人」、郷土愛の醸成)
- ・人権教育、同和教育(指定地区制度、人権感覚・感性・思いやりの醸成)
- ・インクルーシブ教育(専門指導主事、授業のUD化、学習指導支援、就学アドバイザー)
- ・小中連携、一貫教育(中1ギャップの解消、上越カリキュラム)

○学力向上対策

- ・学校訪問(授業改善支援訪問、PRT訪問)
- ・啓発資料作成(学力向上リーフレット2017、授業のUD化)
- ・指導確認事項(学習・生活規律、温かな学級風土、授業の構造化、効力感)
- ・家庭学習の充実(学習習慣の定着、学習の質と量、自己マネジメント力の育成)
- ・生活習慣の改善(メディアとの関わり、食育)

○現状(全国学力・学習状況調査等の結果から)

- ・A問題(基礎的・基本的事項)の正答率は、全国や県平均と同等かそれに近い。
- ・一方、B問題(活用)の正答率は、全国や県平均を下回っている傾向にある。
- ・特に中学生の家庭学習時間が不足している。
- ・質問紙調査などでは、学級・学校生活への満足度や授業の理解度で数値が高い。
- ・自己肯定感や規範意識は全体的に高いレベルにある。

○課題

- ・公教育としての質の担保(教育格差の是正、学校の適正配置、複式学級の解消)
- ・地域の教育的資源の活用(上越教育大学との連携強化、教員OB、学生等)

◎今後に向けて

上越市の子どもたちに、これからの社会を自立して生きていくために必要な資質・能力を育み、将来の担い手を育成するために、本市として「学力」をどう捉え、どのようにその向上に取り組むか。